

F-27 HUMAN ECOLOGY における80年代環境学発展のアプローチ。

—情報化時代における 地域生活環境への役割リー

ヒューマン エコロジー-研究所 松田 茂美子

### 目的

急速する現代、21世紀を近い未来を前に HUMAN ECOLOGY が環境学に関して果たすべき役割の役割を解明する時期に来ている。今日を界の先駆的 ホームエコノミストの課題は「人類生存の最適化の向いかけ責任あるアプローチであろう。わたくしは この機会に20年後の未来を目標とした一歩として 対処すべき方向性と方策を具体的なアプローチを試みる。

### 方法

1. 隣接科学としての HUMAN ECOLOGY の価値とはなにか。
2. Communication における環境学へのアプローチ。
3. Community 発展における環境学のアプローチ。

まとめ 未来環境学の方角性と具体的方策。

### 成果

1. HUMAN ECOLOGY が自然、社会、人文科学における横軸としての要素、深さ幅の広がり、空間的持続性などトータルな行動哲学的要素をもつ。したがってあらゆる条件を超越する something を示める強力な思想と行動を包摂している。
2. 情報時代イコール Communication、カルテックイコール文化といわれる流動大衆化社会にあって戦後閉鎖的作地域開発に市民社会の台頭と共にこの変遷に強力に対処していく環境学の使用を具体的に提言を試みる。